

東海第二発電所 工事計画審査資料	
資料番号	工認-672 R1
提出年月日	平成30年8月27日

V-5-40 計算機プログラム（解析コード）の概要・FRAME（面内）

目次

1. はじめに	1
1.1 使用状況一覧	2
2. 解析コードの概要	3

1. はじめに

本資料は、添付書類において使用した計算機プログラム（解析コード）FRAME（面内）について説明するものである。

本解析コードを使用した添付書類を示す使用状況一覧，解析コードの概要を以降に記載する。

1.1 使用状況一覧

使用添付書類		バージョン
V-2-2-27	常設低圧代替注水系ポンプ室の耐震性についての計算書	Ver. 5.0.4
V-2-2-29	代替淡水貯槽の耐震性についての計算書	Ver. 5.0.4

2. 解析コードの概要

項目	コード名 FRAME (面内)
使用目的	2次元骨組構造解析 (断面力算出)
開発機関	株式会社 フォーラムエイト
開発時期	1998年
使用したバージョン	Ver. 5.0.4
コードの概要	<p>(株) フォーラムエイトによって開発された、平面骨組構造解析の汎用市販コードである。</p> <p>本解析コードは、微小変位理論による変位法を用いて、2次元平面骨組モデルの断面力・変位・反力を算出するための構造解析プログラムである。</p>
検証 (Verification) 及び 妥当性確認 (Validation)	<p>FRAME (面内) は汎用市販コードであり、常設低圧代替注水系ポンプ室及び代替淡水貯槽の断面力算出に使用している。</p> <p>【検証 (Verification)】</p> <p>本解析コードの検証内容は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の工認申請で使用する機能の検証として、材料力学分野における一般的知見により解を求めることができる体系について、本解析コードを用いて静的解析を実施した解析解と、構造力学公式集に記載の理論式による理論解とを比較し、解析解と理論解が概ね一致することを確認している。 ・本解析コードの運用環境について、開発機関から提示された要件を満足していることを確認している。 <p>【妥当性確認 (Validation)】</p> <p>本解析コードの妥当性確認の内容は、以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本解析コードは、国内の建築・土木分野において使用実績を有しており、妥当性は十分に確認されている。 ・関西電力株式会社の「大飯原子力発電所第3号機」において、止水壁の平面骨組解析 (断面力算出) に本コード (Ver. 5.00) が使用された実績がある。 ・本工事計画において使用するバージョンは、他プラントの既工事計画において使用されているものと異なるが、バージョンの変更において、本解析の使用範囲の結果に影響の無いことを確認している。

	<ul style="list-style-type: none">・本解析コードの理論は、一般的に認知されているものであり、今回の工認申請で使用する2次元骨組モデルによる断面力算定での適用は妥当である。
--	--